



デジタル・ナレッジ

失敗しない

「LMSカスタマイズ」完全ガイド

導入前に知るべき3つの判断基準と成功事例

2026年 7月発行



目次

01	はじめに	P.3
02	LMSカスタマイズとは？	P.4
03	LMSカスタマイズにおける3つの判断基準	P.5
04	LMSカスタマイズの主な種類	P.6
05	成功事例①：UI/UX改善	P.7
06	成功事例②：標準機能の活用	P.8
07	依頼時の注意点とベンダー選定	P.9
08	まとめ	P.10
09	弊社製品のご紹介	P.11

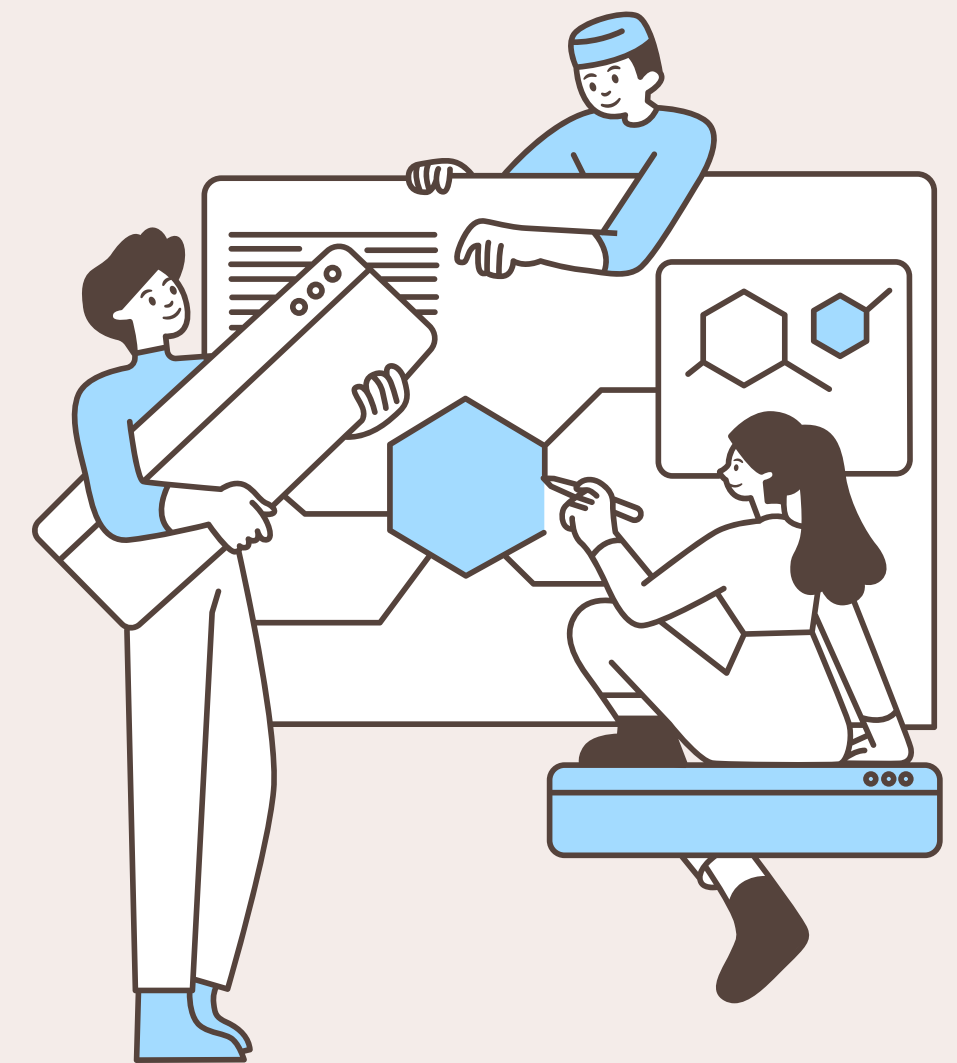
LMSの標準機能だけで、複雑な自社業務に対応できるか不安…

と、お悩みではありませんか？

LMSのカスタマイズは業務効率と学習効果を高める強力な手段ですが、判断を誤ると費用増大のリスクも伴います。

本資料では、以下のポイントを初心者向けに分かりやすく解説します。

- カスタマイズの3つの判断基準
- 成果を出した企業の成功事例
- 失敗しないベンダー選びの注意点



LMSカスタマイズとは？

LMSカスタマイズとは、組織の業務フローや要件に合わせて標準的なLMSに追加開発や設定変更を加えることです。

※LMS（Learning Management System）：eラーニングの受講から成績・学習履歴までを一元管理するシステム

メリット

「人の動きにシステムを合わせる」ことが可能

- ✓ 独自の承認ルートなど業務の自動化
- ✓ 利用者の状況に合わせた学習効果の向上
- ✓ UI/UX改善による操作迷子の防止

デメリット

追加費用の発生や利用開始までの期間延長

- ✕ 独自機能を実装するための開発費用
- ✕ 要件定義やテストによる導入の長期化
- ✕ システム更新時の検証など保守運用の増大

リスクを避けるには、本当に必要な機能を厳選し、まずは最小限のカスタマイズから始めることが重要です。

LMSカスタマイズにおける3つの判断基準

「技術的に可能だから」という理由だけでカスタマイズを採用するのは危険です。まずは標準機能を優先し、以下の **3つの基準** で冷静に判断しましょう。

☑ 業務適合性の確認

標準機能では解決できない「事業上の致命的な課題（独自の教育メソッドや高度なセキュリティなど）」があるか。



☑ 費用対効果の検討

開発投資額に対して、作業時間削減（定量）や学習完了率向上（定性）などの効果が見合うか。



☑ 要件定義の明確化

要望を「Must（必須：代替不可）」と「Want（希望：手作業で代用可）」に厳格に仕分ける。

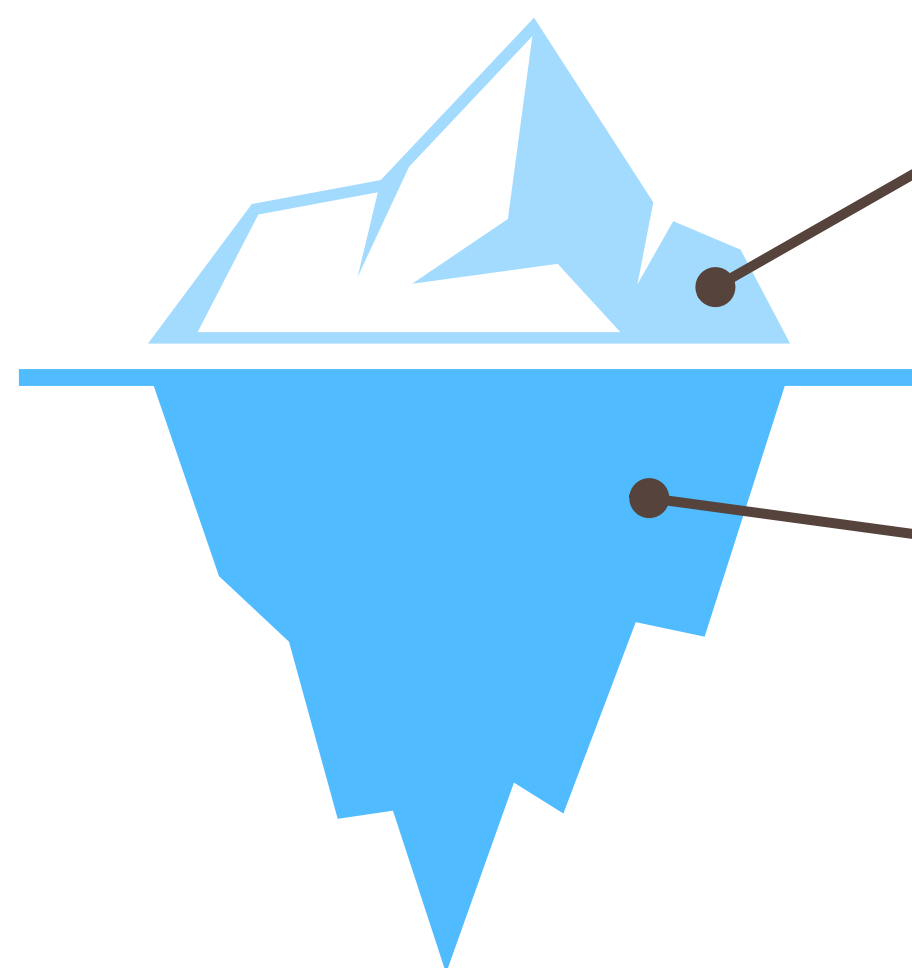
Must

Want

カスタマイズありきで考えず、まずは必須機能（Must）から小さく始めることが失敗を防ぐコツです。

LMSカスタマイズの主な種類

LMSのカスタマイズの範囲は多岐にわたり、主に **見た目（UI/UX）** と **裏側の仕組み（機能）** の2つに分類されます。



★ UI/UXのカスタマイズ

- ログイン画面への企業ロゴ・ブランドカラー反映
- 受講者の属性に応じたメニューの出し分け
- スマホやタブレットなどへの表示最適化

★ 機能のカスタマイズ

- 組織特有の複雑な承認フロー（多段階など）の実装
- 人事給与システム等とのデータ連携（API/CSV）
- SSO（シングルサインオン）やIP制限などの認証強化

UI/UX改善は学習者のモチベーションを高め、機能追加は管理者の運用負荷を劇的に削減します。

成功事例①：UI/UX改善

組織規模

大規模な販売組織を持つ企業

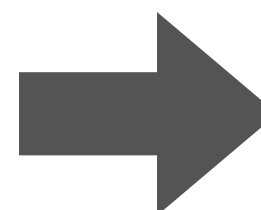
対象者

IT操作への慣れにばらつきがある幅広い年齢層のスタッフ



導入前の課題

受講者が直感的に操作できる環境がなく、目的の教材を探すのに手間取っていました。学習への心理的ハードルが高く、自発的な受講が進まないことが課題。



カスタマイズ施策

トップページのデザインを大幅に見直し、UIを刷新。新着教材や必修教材などを視覚的にカテゴリ分けし、迷わずスムーズにアクセスできる導線を確立。

学習の着手率が向上し、一人当たりの教材修了数がリニューアル前の **約1.8倍** に増加しました！

成功事例②：標準機能の活用

組織規模

数万人規模の従業員を抱える大企業

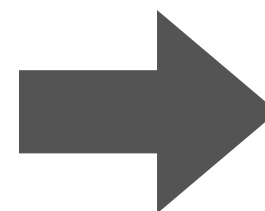
対象者

独自の教育システムの老朽化と、維持費用の増大に直面している組織



導入前の課題

長年運用してきた独自システムの老朽化により、機能拡張の限界に直面。
また、複雑な階層管理や独自の運用ルールが足かせとなっていました。



施策

システムをカスタマイズするのではなく、最新のパッケージ型LMSを導入し、「標準機能に業務を合わせる」方針を徹底。システムに合わせて、社内の運用ルールや業務プロセスそのものを大幅に見直しました。

**開発費用の抑制と導入期間の短縮を実現し、
安定的かつ持続可能な人材育成環境の構築に成功しました！**

依頼時の注意点とベンダー選定

プロジェクトを成功に導くには、ベンダー任せにせず、発注者側が主体となって次のポイントを確認しましょう。



☑ セキュリティ要件の確認

SSO連携の有無、IP制限などアクセス制御の柔軟性、第三者認証の取得状況を確認する。

☑ ベンダーの提案力

「言われた通りに作る」だけでなく、プロ視点での逆提案や代替案を出してくれるかを見極める。

☑ 実績とサポート体制

セキュリティ仕様の開示に協力的か、似た規模・分野での豊富な実績と導入後のサポートがあるか。

単なる 開発業者 ではなく、ビジネスの成功を長期的に共有できる パートナー を選定しましょう！

まとめ：LMSカスタマイズ成功の鍵

LMSのカスタマイズは、導入自体がゴールではなく **組織の課題を解決するための手段** に過ぎません。

成功の鍵は、標準機能で費用と時間を抑える部分と、独自の教育効果を生み出すために投資すべき部分の**メリハリ**をつけることです。

ぜひ、本資料で解説した **3つの判断基準**（業務適合性・費用対効果・要件定義）を軸に最適解を見極め、組織の成長を加速させる戦略的なLMS活用を実現してください！



柔軟なカスタマイズが可能な弊社のLMSはこちら



弊社製品のご紹介：KnowledgeDeliver



KnowledgeDeliver

KnowledgeDeliver（ナレッジデリバー） は、教材作成、学習、運用管理の3つの機能を標準搭載したeラーニング統合プラットフォームです。多彩な教材形式に対応し、マルチデバイスでの学習をサポートします。

KnowledgeDeliverの特長

- ✓ 教材作成・学習・運用管理まで、これ1つでオンライン学習環境を整備
- ✓ 動画教材作成も、既存のOffice資料の教材化もWebベースで簡単
- ✓ 従業員一人一人の学習進捗・理解度・獲得スキルを明確管理
- ✓ 従業員がマイページで自身の学習進捗等を確認可能
- ✓ 社内eラーニングだけでなく、外部ウェビナーを含むあらゆる学習履歴を一元管理
- ✓ 人事データベースや、タレントマネジメントシステムとの連携
- ✓ 次世代の学習証明「オープンバッジ」対応、獲得したスキルを世界標準で見える化
- ✓ ニーズに応じた柔軟なカスタマイズ開発

弊社製品のご紹介：KnowledgeDeliverが選ばれ続ける9つの安心



ご要望に合わせたカスタマイズ

人事連携や独自機能など柔軟な開発が可能。



これ1つで完結

教材作成・学習・管理の必須機能を標準搭載。



3,000以上の導入実績

企業や学校など圧倒的な実績。専門スタッフが伴走。



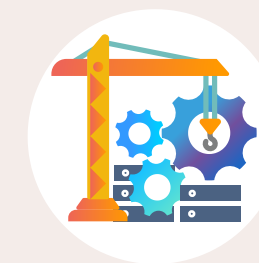
年4回以上のバージョンアップ

最新トレンドに合わせ、年4回の新機能追加を実施。



選べる導入形態

クラウドからオンプレまで要件に合わせて選択可能。



大規模運用にも対応

数万人規模のアクセスにも耐える強固なサーバー。



安心の運用サポート

導入後も電話やメールで手厚くフォローします。



万全のセキュリティ対策

脆弱性対策など、高いセキュリティ基準をクリア。



多言語対応

英語や中国語にも対応。グローバル人材育成に。

お問い合わせ・ご相談はこちらまで

最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。
eラーニングの導入や、効果測定に関するお悩みは、ぜひお気軽にご相談ください。

お問い合わせフォーム



お電話でのご相談

導入のご相談：050-3628-9240
その他お問い合わせ：03-5846-2131



デジタル・ナレッジ

<https://www.digital-knowledge.co.jp/>